

そらいろのたね

2025
Spring

発行 安曇野市PTA連合会 / 発行日 2025年3月10日 / 発行人 小松 公平 / 編集責任者 中村 和弘
事務局 南安曇教育文化会館内 Tel.0263-72-2430 Fax.0263-72-6488

今年度をふりかえって

市P連会員の皆様、日頃よりPTA活動への深いご理解ご協力賜りまして誠にありがとうございます。

今でこそマスクも不要になり日常が戻りつつありますが、コロナ禍におきましては学校運営・PTA活動において多大なるご苦労があったことと思います。そのような状況下でも試行錯誤、創意工夫を凝らして子どもたちのためにご尽力いただきましたことを深く感謝申し上げます。

令和6年度市P連スローガンとして『寄り添い 変化から進化』を掲げて参りました。

PTAの本来の意義は、子どもたちのために保護者と学校が話し合う場であり、その先に教育課題の共有や解決、学びと交流、地域との関係があります。

重要なのは、保護者がボランティアとして、子どもたちのために何をすべきかの視点で「できる人が、できる時に、できる事を」という事をPTA活動の原点を考え、持続可能なPTAになるよう今後も皆さんと共に考えていきたいと思っています。

組織運営に関しては、その組織の目的や役割を正しく理解した上で、判断する立場にある者が議論をし、結論を出す。その積み重ねが、組織をより良い方向へ導くものと考えます。

引き続き、情報交換、意見交換の場で、建設的な議論が

なされることを期待しております。

何に困っているのか、それに対し何ができるのか、多様な声に寄り添い、共に考え、共に歩む姿勢が大切と感じてきました。

この一年間は、学校PTAに必要とされる団体になる事を目標に掲げ、学校PTAのために、何ができるかを考え、行動してきました。

「過去から学び」「現在を検証し」「未来を見据えた」活動をするために教育委員会、市P連役員会でも議論を進めてまいりました。

その思いから安曇野市のPTA全体で、より多くの保護者に安心して入ってもらえるような組織へと前進することを目指して「課題対策特別委員会」を設置する事としました。

今後は、安曇野市PTA連合会課題対策特別委員会の委員長として、引き続きPTA活動に携わってまいります。

これまでのご支援に感謝申し上げます。ありがとうございました。



令和6年度 安曇野市PTA連合会
会長 小松 公平

教育委員会との懇談会開催



令和6年10月1日(火)に安曇野市教育委員会との懇談会を安曇野市役所にて開催し、21人(市P連役員6人、単P会長14人)が参加しました。安曇野市からは教育長をはじめ、教育部長、学校教育課長など関係部署のみなさんを合わせて11人に参加いただきました。懇談会は昨年同様に懇談の内容をその後の学校生活やPTA活動に生かせるよう時期を早めました。懇談は事前にアンケートで安曇野市を取り巻く様々な教育課題や、PTAとして日頃感じていることや子どもたちの健全育成に対し、不安や疑問に思っていること、PTA活動において市レベルでなければ実現が難しいと感じたこと、安曇野市教育委員会に聞いてみたいことなどを集約し、質問書を市教育委員会へ提出、教育長より回答書を受け取り懇談に入りました。子どもたちの学校生活、施設、食育、不登校児童、PTA活動などについて日ごろ感じている疑問や提案など行い、丁寧に答えていただきました。要望については前向きに検討していただけるとの言葉があり、今後に期待したいと思います。1時間と限られた時間でしたが、有意義な懇談となりました。

三行詩

日本PTA全国協議会主催の三行詩コンクールに、今年も安曇野市から多くの作品が応募されました。入賞者には、表彰状贈られます。次回もたくさんのご応募をお待ちしています。

三行詩コンクール入選作品 令和6年度

まずは失敗してみよう
母の教えは私の支え
心の支え ありがとう

小学生の部 穂高北小6年 鈴木 こも葉さん

「何が嫌なの？」気遣ってかけてくれた言葉に
私は答えられなかったけど
無理に聞いたりしてこなかった。
そのおかげで 学校に戻れたんだ。

堀金中2年 米倉 のえるさん

娘たちのにくまれ口
思春期と思えば にやけちゃう

三郷中 保護者 小澤 理恵さん

みんなが起きる魔法の言葉
「起きなさい」より 「こはんだよ」

三郷中 保護者 牧野 衣里子さん

そらいろの ツバメ 飛び交う 我が宿へ

豊科南小 保護者 内田 一三さん

ママ ママ ママ ママあ だれがしゃべってる？
全部聞きたい！ みんな聞かせて

豊科北小 保護者 丸山 梨絵さん

私の心の声 大変 たいへん、疲れた つかれた
でも幸せな言葉だなあー

豊科北小 保護者 太田 幸美さん

優秀賞 小学校の部

夕ごはんは おいしい、おいしい
お母さんの味 そしてあたたかい空気

穂高北小6年 中西 梨葉さん

「大丈夫、お父さんとお母さんはあなたの味方」
お母さんのこの言葉 つらいときでも家族がいる。

穂高北小6年 菅野 ひなたさん

家族みんなて食べるごはんはいつも、あたたかく、
楽しく、ほっこりしていきもちがはれる

穂高北小6年 中山 侑姫さん

いつも料理を作ってくれる
お母さん 今度はばくが作る番

穂高北小6年 田中 稜祐さん

お姉ちゃんは大学生で遠くにいる さみしい
ときには 電話がある 電話は私の最強の武器

穂高北小6年 上条 真子さん

一年後、五年後、十年後 家族のカタチは
変わるけど 家族の愛は変わらない

穂高北小6年 田村 葵さん

災害時、ちゃんと家族全員に合えるかな。

穂高西小6年 渡邊 桃さん

毎朝の行ってきますとハイタッチ お母さんとおばあちゃんに見守られて 今日ががんばるよ

明南小5年 壇原 悠花さん

学校に行く時いつも家の前で立ってくれて
ありがとうおばあちゃん どんな子もみとめられて
のびて行く「がんばった」は魔法の言葉

明南小5年 矢花 ほのかさん

優秀賞 中学校の部

ソファに座っていたら 母がとなりため息をついた「ここに座ったのいつぶりだろう。」
いつもお疲れ様。今日はゆっくり休んでください。

堀金中2年 浅川 鈴和さん

料理苦手な父親が 初めて作った夜ご飯
かってに笑みがこぼれたよ

堀金中2年 百瀬 瑞羽さん

反抗期から反省期 いつも簡単には言えない
家族への「ありがとう」や「ごめんない」

堀金中1年 小島 瑞奈さん

「手伝うよ」その言葉だけで 笑顔になる

堀金中3年 坂岩 春香さん

昔はおさがりをあげていた今はおさがりをもらう
ことがある 私より小さかった妹の背中は
私よりも大きく頼もしくなっていた。

堀金中3年 小島 琉愛さん

だいじょうぶ、と強がっている私の悩みに
すぐに気付いてくれる家族へ
きょうも、ありがとう。

堀金中3年 加納 百穂さん

お母さんの声は 目覚まし時計よりも
効果的です ありがとう

堀金中3年 稲葉 結実さん

朝になり うるさいアラーム 起きられず、
母の足音 飛び起きる。

堀金中3年 藤原 珠里さん

反抗期 ささいなことて怒っちゃう
「ごめんね」「ありがとう」素直に言えたらな

豊科北中2年 丸山 結愛さん

編集後記

- ・会報をつくるのにも多くの苦労があります。少しでも読んでみて。
- ・他校と情報共有でき良い経験になりました。ありがとうございました。
- ・会報作りを通して貴重な経験を得る事ができました。
- ・会報作りを通して他校の情報を知ることが出来ました。
- ・広報委員会のメンバーに恵まれ、皆で力を合わせた会報です。
- ・[綺麗な空] 見上げて君は何時も言う、その心忘れずに
- ・役員にならなければ他校の活動を知る機会が少ないので貴重な経験をさせていただきました。
- ・広報を通し他校と交流が出来貴重な経験でした。皆様ご苦労様でした。
- ・他校の工夫を共有し、つながる喜びを得ました。

三郷小学校／原
豊科北中学校／若林
穂高南小学校／飯島
穂高西中学校／櫻井
三郷中学校／中村
豊科南中学校／細田
堀金中学校／小川
豊科南小学校／内田
穂高北小学校／山本



<https://azumino-pta.com>
「そらいろのたね」では学校の取り組み等、記事を募集しております。
お気軽にホームページよりご連絡ください。